

平成27年救助統計



北見地区消防組合

目次

1	救助業務の概要・救助出動の状況	… P 1
2	地区別救助事案発生件数	… P 2～3
3	救助活動の状況（活動時間推移）	… P 4
4	医師要請及びドクターカー・ヘリ要請の状況	… P 5
5	救出された要救助者の傷病程度	… P 6
6	交通事故の出動状況	… P 7
7	水難事故及び水難救助隊の出動状況	… P 8
8	風水害等自然災害の出動状況	… P 9
9	機械事故による事故の出動状況	… P 10
10	建物等による事故の出動状況	… P 11
11	ガス及び酸欠事故の出動状況	… P 12
12	その他の事故の出動状況	… P 13

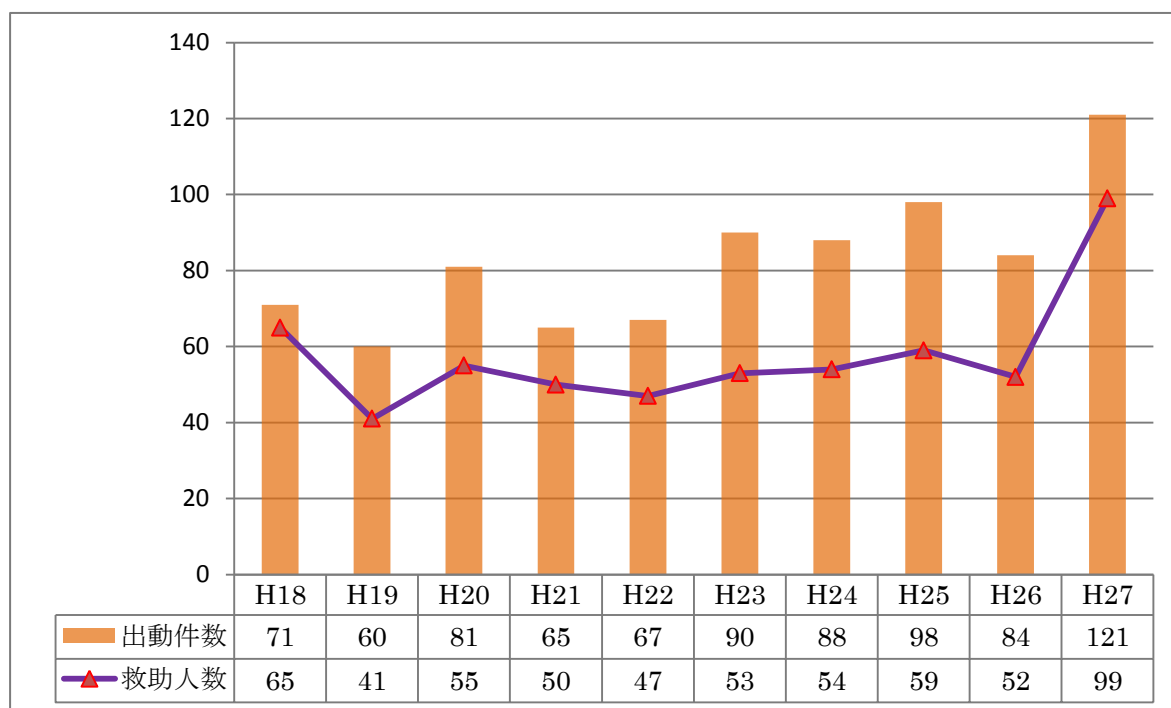
1 救助業務の概要

北見地区消防組合消防署救助隊は、火災、交通事故、水難事故、地域の特殊性に応じた自然災害などから、生命・身体の危険を排除し、安全・確実・迅速に救出することを目的としている。当消防組合は石北峠からオホーツク海に面する東西約110km、約2145km²に及ぶ広大な地域を管轄しており、救助隊及び各支署に配備されている救助資機材で各種出動事案に対応している。

救助出動の状況（出動件数、救助人数の推移）

北見地区消防組合の救助出動件数は121件で、前年と比較して37件の増加となり、救助人数99人で前年と比較して47人の増加となっている。（図1－1）

図1－1 救助件数の推移



2 地区別救助事案発生件数

平成27年中の救助出動件数は121件。前年と比較し37件増加している。（表2-1）（表2-2）

交通事故が48.8%、建物による事故が22.3%を占め、次にその他の事故が15.7%、機械による事故が5.0%となっている。（図2-1）

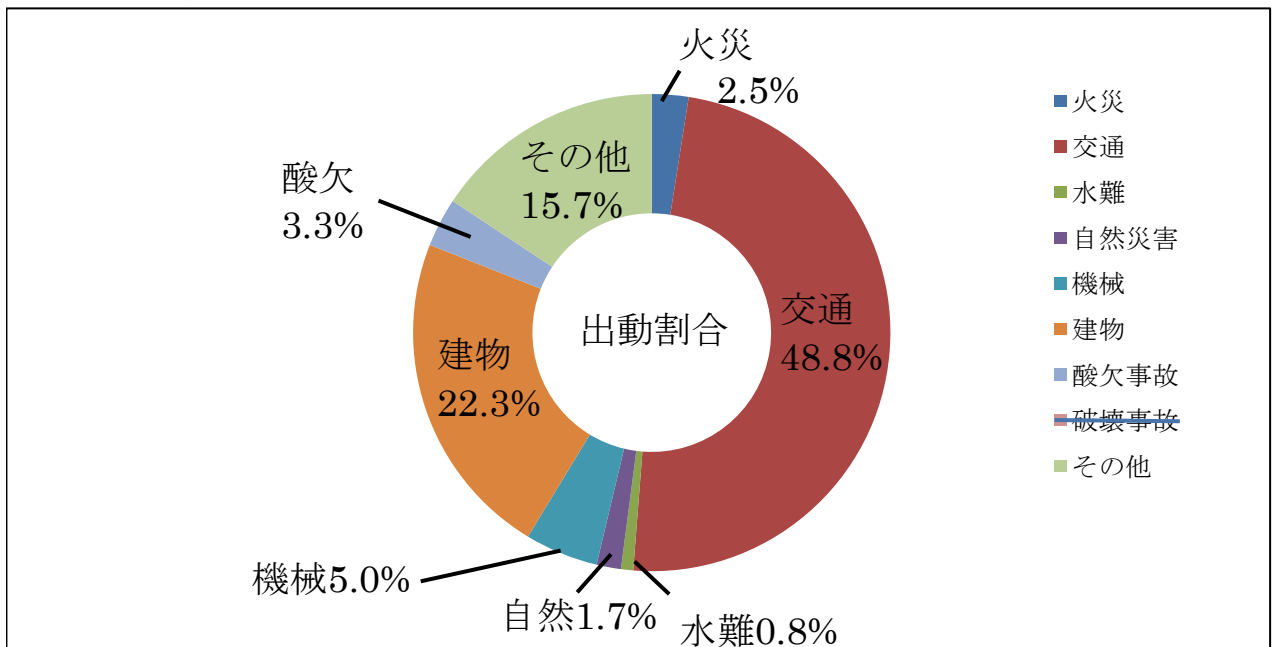
表2-1 構成市町別救助事案発生件数

事故種別		火 災		交 通	水 難	風 自 水 然	機 械	建 物	ガ 酸 ス 欠	破 裂	そ の 他	計
		建物	建物以外									
合 計	出動件数	3		59	1	2	6	27	4		19	121
	増減数	1		19	Δ 1	0	0	6	1		11	37
	活動件数	3		40	1	2	4	18	4		8	80
	増減数	1		13	0	1	2	4	3		2	26
	救助人数	20		48	1	3	4	15	2		6	99
	増減数	18		13	1	3	2	6	1		3	47
北 見 市	出動件数	3		53	1	2	5	26	4		15	109
	増減数	1		16	Δ 1	0	0	5	1		8	30
	活動件数	3		37	1	2	4	17	4		7	75
	増減数	1		13	0	1	2	3	3		2	25
	救助人数	20		45	1	3	4	14	2		5	94
	増減数	18		13	1	3	2	5	1		3	46
置 戸 訓 子 府 管 外	出動件数			3				1			2	6
	増減数			2				1			2	5
	活動件数			2				1				3
	増減数			1				1				2
	救助人数			2				1				3
	増減数			1				1				2
子 府 管 外	出動件数			3			1				2	6
	増減数			1			0				1	2
	活動件数			1							1	2
	増減数			Δ 1							0	Δ 1
	救助人数			1							1	2
	増減数			Δ 1							0	Δ 1
府 管 外	出動件数											
	増減数											0
	活動件数											
	増減数											0
	救助人数											
	増減数											0

表2-2 北見市自治区別救助事案発生件数

事故種別		火 災		交 通	水 難	災 自 害 然	機 械	建 物	ガ酸 ス 欠	破 裂	そ の 他	計
		建物	建物以外									
北見市 野呂留辺 藻	出動件数	3		31	1	2	1	23	2		11	74
	活動件数	3		21	1	2	1	15	2		5	50
	救助人数	20		28	1	3	1	12	1		5	71
	出動件数			11			1	1			1	14
	活動件数			8			1					9
	救助人数			8			1					9
	出動件数			3			1	1	1		2	8
	活動件数			3			1	1	1		1	7
	救助人数			3			1	1	1			6
留辺藻	出動件数			8			2	1	1		1	13
	活動件数			5			1	1	1		1	9
	救助人数			6			1	1				8

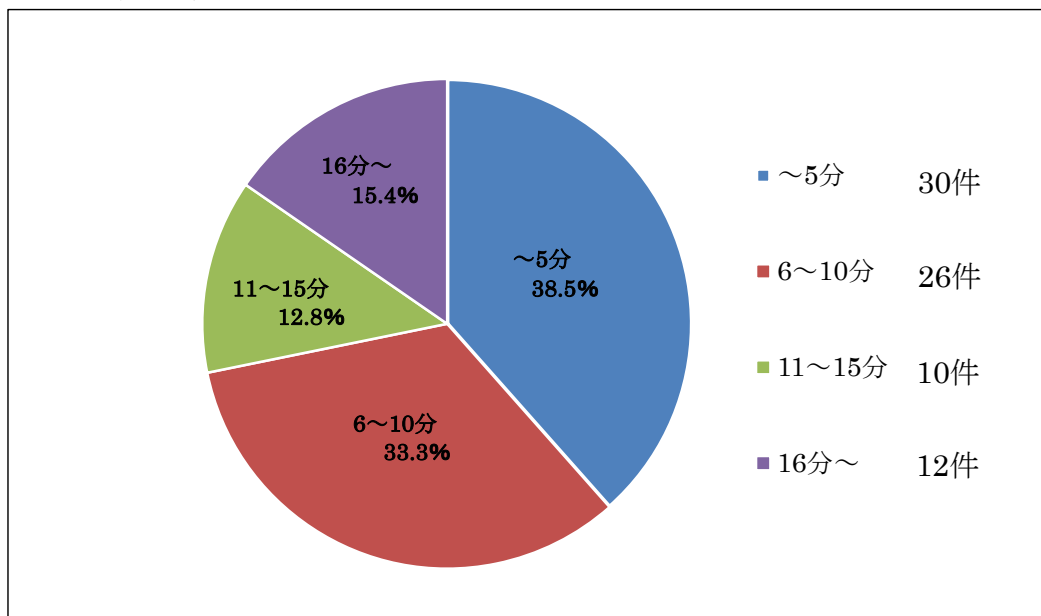
図2-1 事故種別出動割合



3 救助活動の状況（活動時間推移）

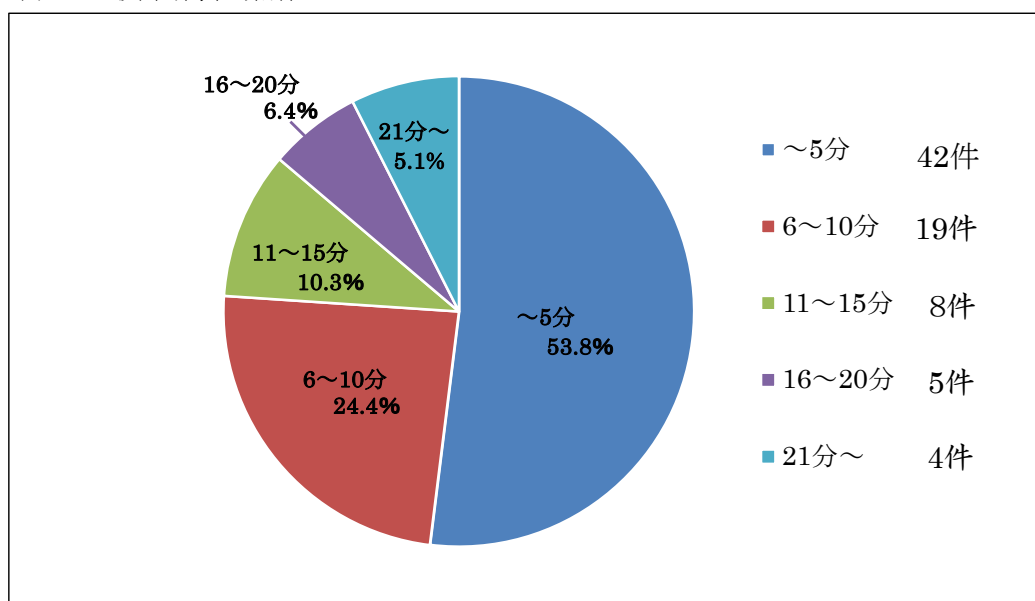
平成27年中の救助活動有りの件数は80件。前年と比較し26件増加している。現場到着の平均時間は9.3分（最先着隊の到着、救急隊含む）、救出時間は平均6.3分を要した。（図3-1）（図3-2）

図3-1 現場到着平均時間割合



※搜索事案2件は含まず

図3-2 救出時間平均割合



※搜索事案2件は含まず

4 医師要請及びドクターカー・ヘリ要請の状況

平成27年中の救助出動事案に関わるドクターカー（医師要請）出動は4件。要救助者をいち早く医師の管理下におくため、天候や地理的な条件を考慮して早期にドクターカーまたは、ドクターヘリを要請する必要がある。（図4-1）

なお、医師搬送はすべてドクターカーによるものであった。

医師要請回数及び搬送回数(表4-1)、ドクターヘリ要請回数及び搬送回数(表4-2)、防災ヘリ要請回数及び搬送回数(表4-3)は、下表のとおりである。

図4-1 救助事案に関わる医師要請状況

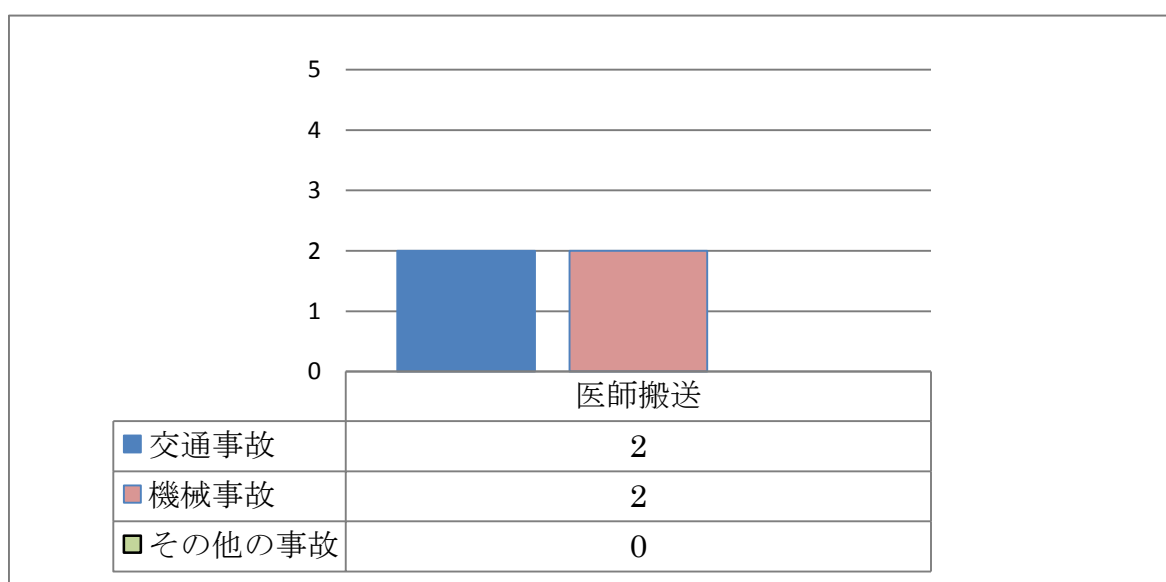


表4-1 医師要請回数及び搬送回数

	H27
医師要請回数	4
医師搬送回数	4

表4-2 Dr.ヘリ要請回数及び搬送回数

	H27
Dr.ヘリ要請回数	1
Dr.ヘリ搬送回数	0

表4-3 防災ヘリ要請回数及び搬送回数

	H27
防災ヘリ要請回数	1
防災ヘリ搬送回数	0

5 救出された要救助者の傷病程度

平成27年中の救出された要救助者は99人、交通事故48.5%、火災建物20.2%、建物等による事故15.2%で、全体の83.9%を占めている。（図5-1）

死亡、重症、中等症の傷病者の割合の合計は40.4%、入院加療を必要としない軽症者は25.3%となっている。（表5-1）

図5-1 災害別要救助者数割合

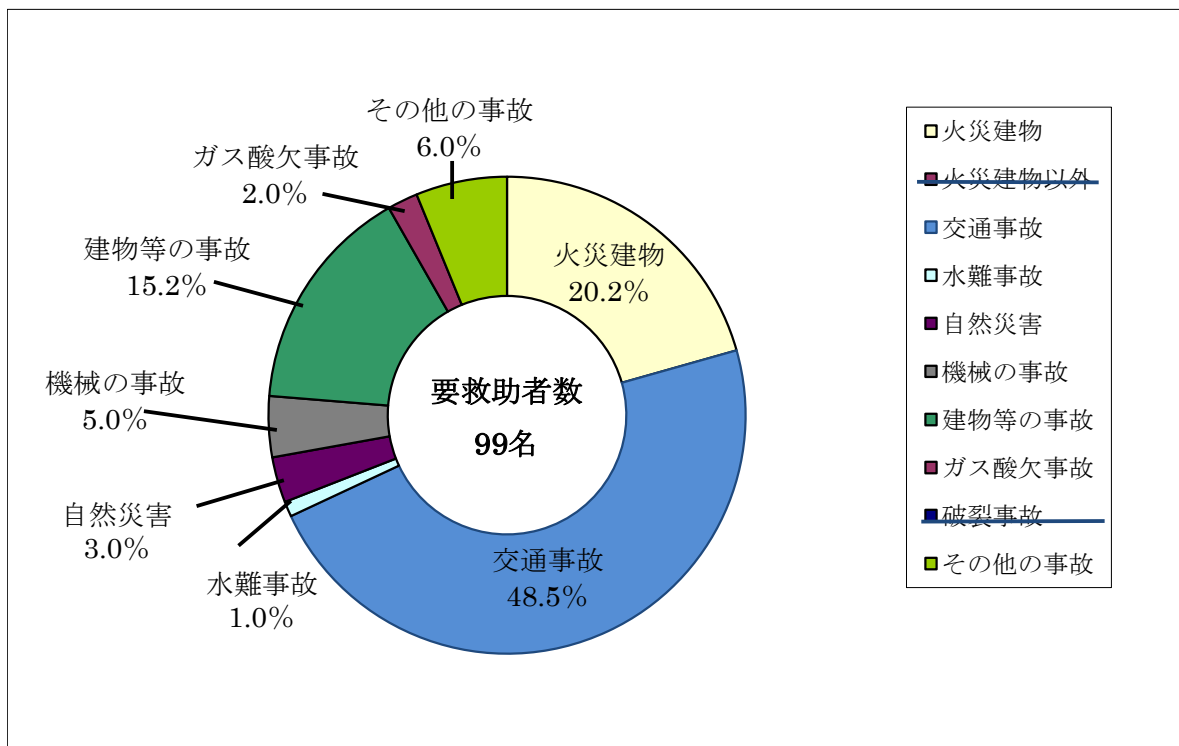


表5-1 災害別傷病程度

	死亡	重症	中等症	軽症	無し	合計
火災建物				1	19	20
火災建物以外						0
交通事故	1	5	18	20	4	48
水難事故	1					1
自然災害		1			2	3
機械の事故	1	1	2			4
建物等の事故	1	1	4	4	5	15
ガス酸欠事故			1		1	2
破裂事故						0
その他の事故		1	2		3	6
	4	9	27	25	34	99

死亡...初診時において死亡が確認されたもの。

重症...傷病の程度が3週間の入院加療を必要とするもの。

中等症...傷病者の程度が重傷又は軽症以外のもの。

軽症...傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

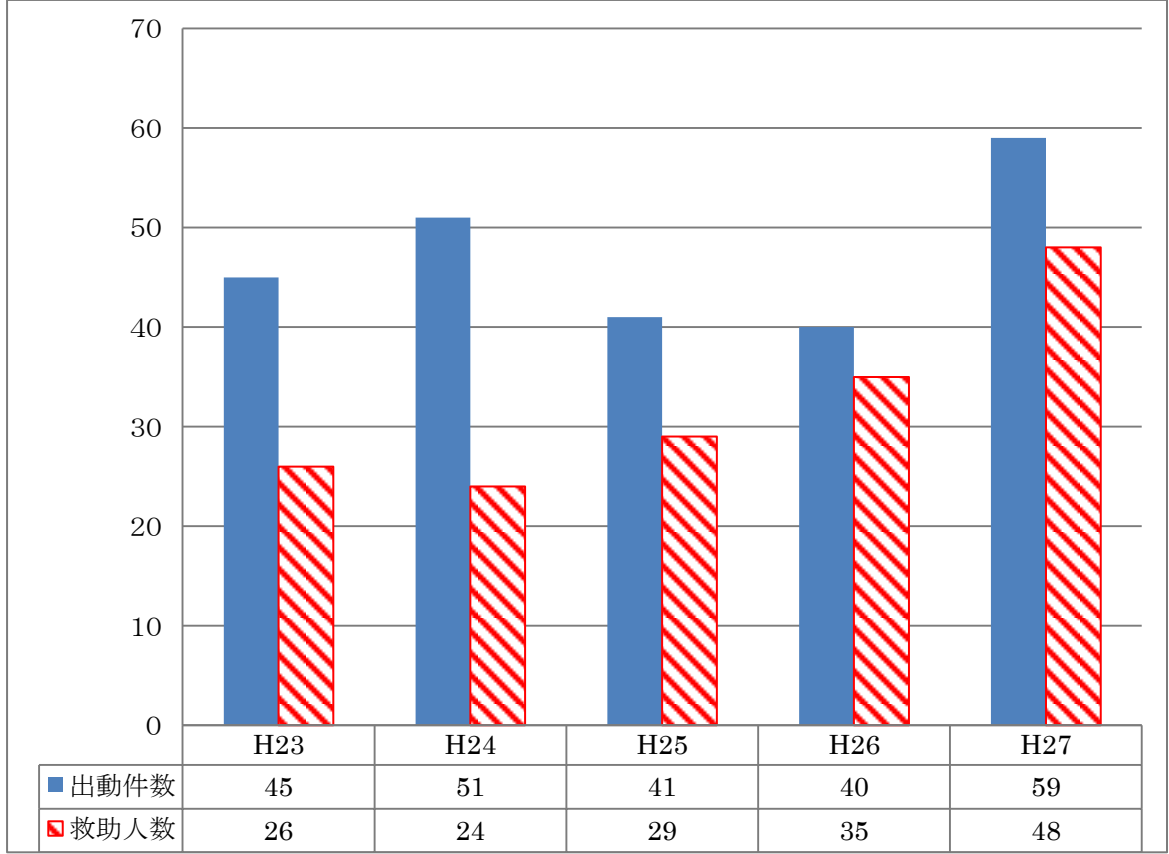
無し...負傷無し、不搬送含む。

6 交通事故の出動状況

平成27年中の交通事故は59件であり、昨年と比較すると19件の増加であった。また、救助人数は48人で13人増加している。（図6－1）

交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単独事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

図6－1 交通事故出動状況及び救助人数



7 水難事故及び水難救助隊の出動状況

平成27年中の水難事故は1件であり、昨年より1件減少となった。水難救助隊の出場は1件で、昨年と同数であった。（図7-1）（図7-2）

当消防組合の管轄区域内における水難救助事故発生時の初動体制は、救助隊、消防隊、救急隊及び指揮隊による対応となる。

水難救助隊は、非番及び公代休の水難救助隊員へ覚知と同時に電話及びメールにより召集し、災害対応を取っている。

水難事故とは、水泳中の溺者又は、水中転落等による事故をいう。

図7-1 水難事故の出動状況及び救助人数

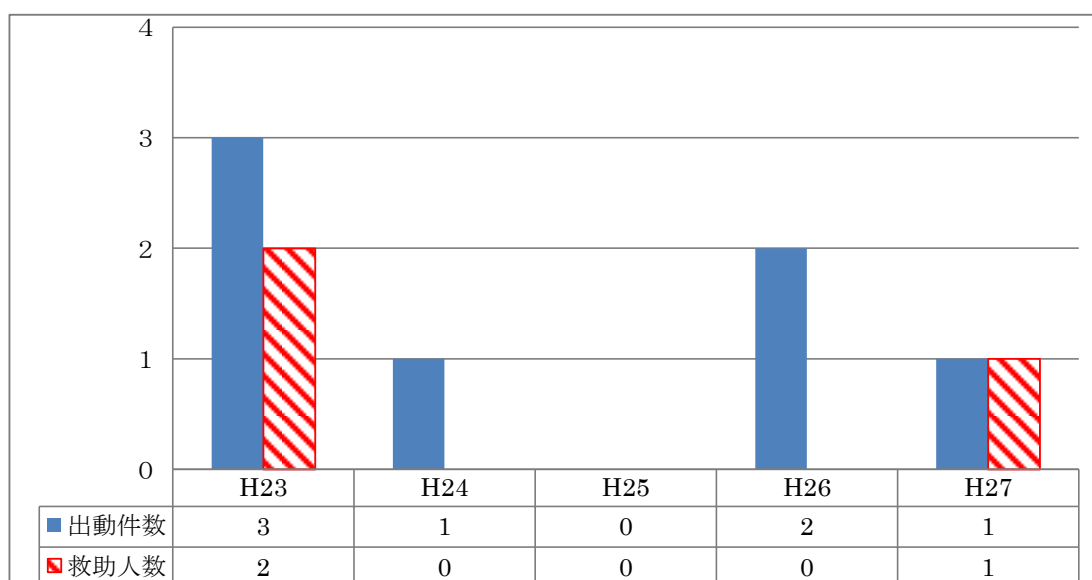
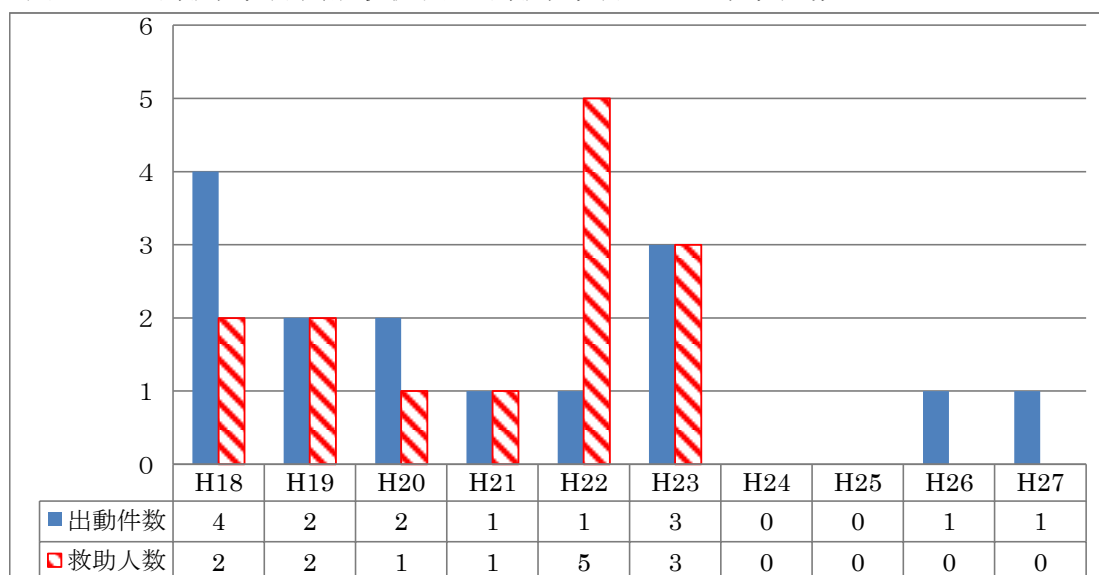


図7-2 水難救助隊出動状況及び水難救助隊による救助人数

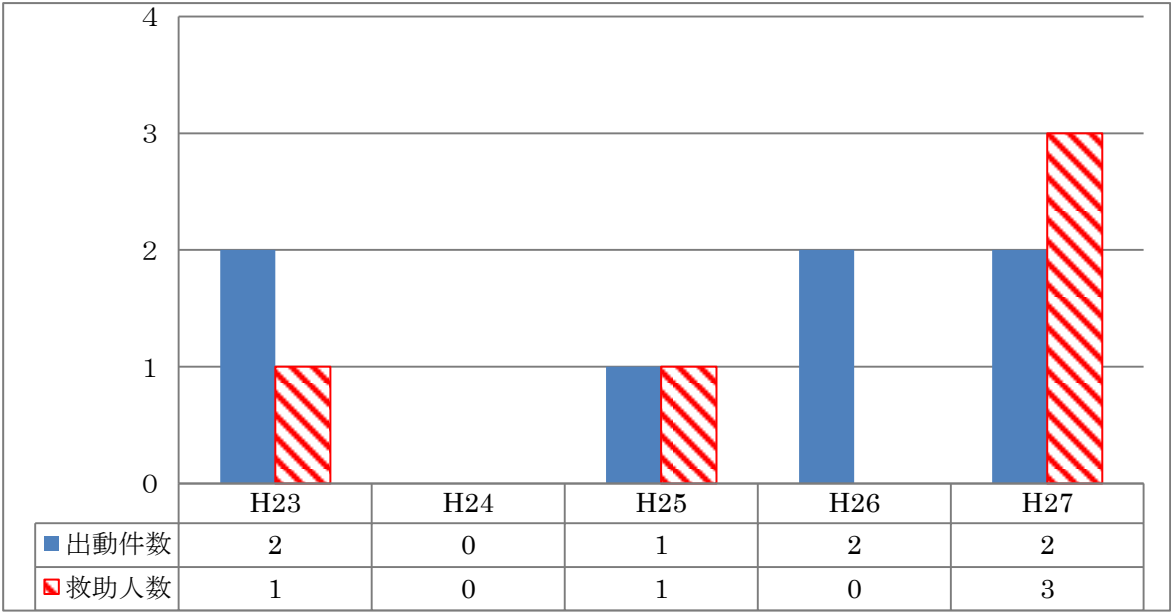


8 風水害等自然災害の出動状況

平成27年中の自然災害出動は、8月11日の大雨や10月1日から2日の暴風及び8日から9日の台風23号の影響により、当消防組合管轄内で147件の出動（警戒種別含む）があり、内2件が救助出動であった。（図8－1）

風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑り、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

図8－1 自然災害救助出動状況

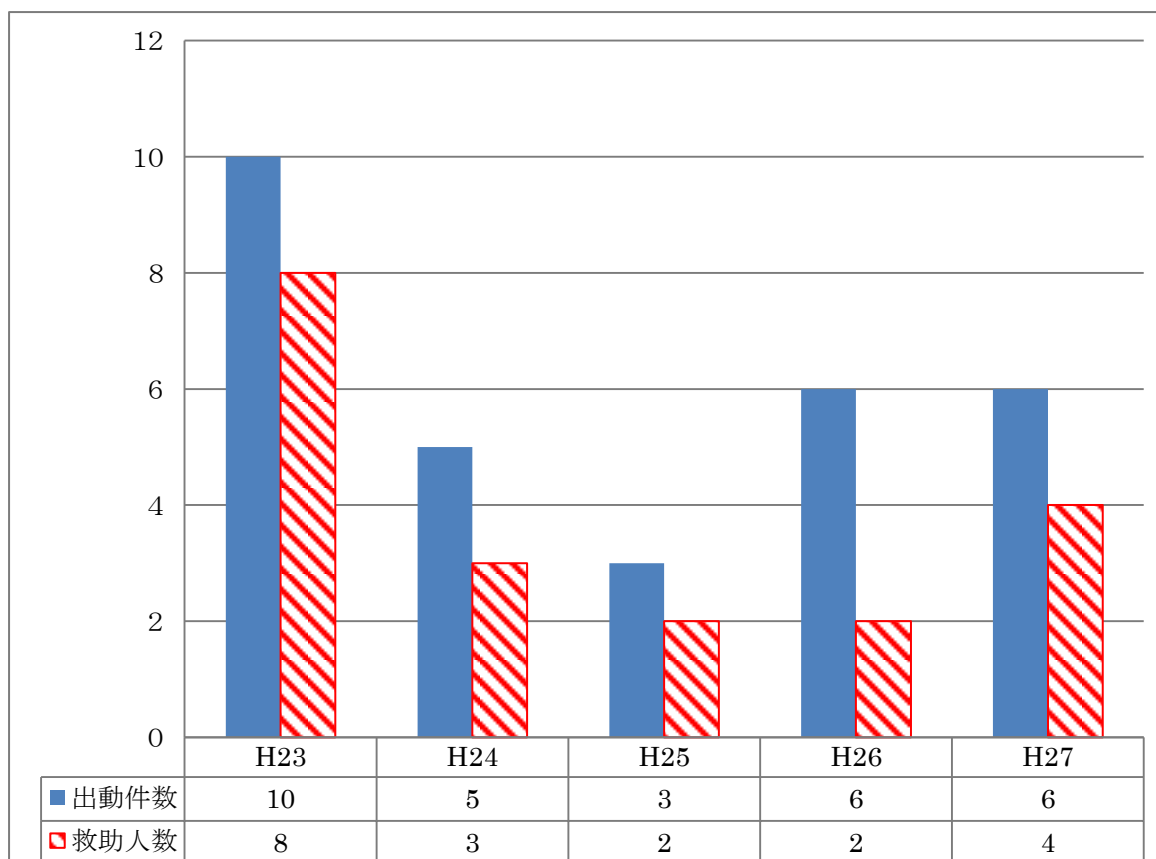


9 機械による事故の出動状況

平成27年中の機械による事故は6件であり、昨年と比較すると同数であり、救助人数は4人で2人増加している。（図9－1）

機械による事故とは、エレベーター、エスカレーター、農業用機械、プレス機械、塵芥収集車、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

図9－1 交通事故出動状況及び救助人数

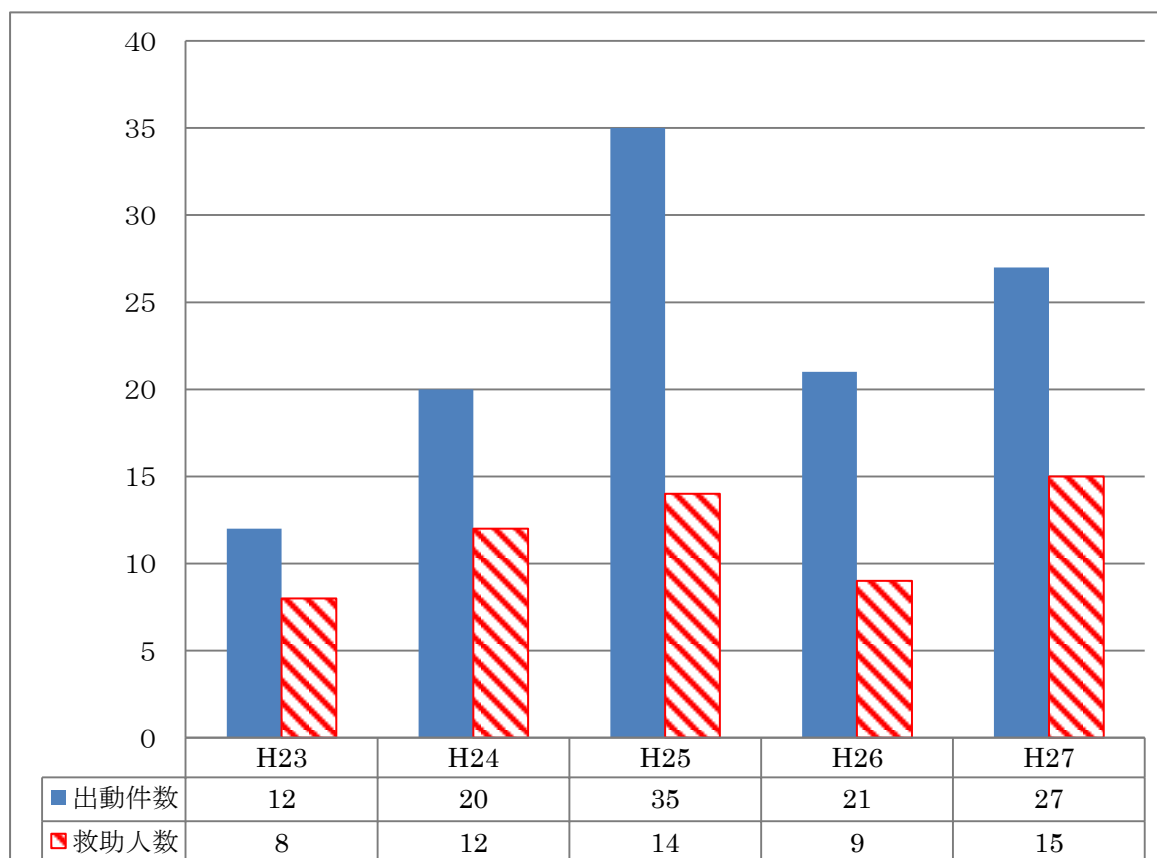


10 建物等による事故の出動状況

平成27年中の建物等による事故は27件であり、昨年と比較すると6件の増加であり、救助人数は15人で6人増加している。（図10－1）

建物等による事故とは、建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

図10－1 建物等による事故の出動状況及び救助人数

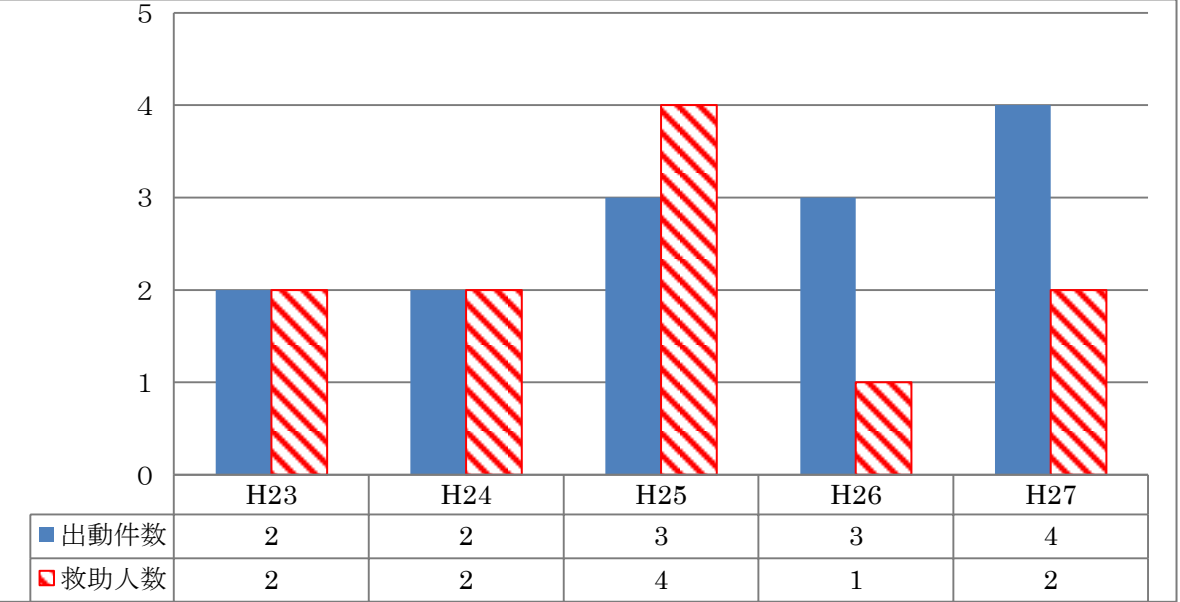


11 ガス及び酸欠事故の出動状況

平成27年中のガス及び酸欠事故は4件で、昨年より1件増加した。救助人数は2人で昨年より1人の増加となった。（図11－1）

ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故をいう。
※車両、建物内の練炭等による事故も含まれている。

図11－1 ガス及び酸欠事故出動状況



12 その他の事故の出動状況

平成27年中のその他の事故は19件であり、昨年と比較すると10件の増加であり、救助人数は6人で3人増加している。（図12－1）

その他の事故とは、交通事故、水難事故、機械による事故、建物等による事故、ガス及び酸欠事故、破裂事故に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

図12－1 建物等による事故の出動状況及び救助人数

